

## 1. 諮問

(1) 平成 29 年 9 月から平成 30 年 8 月までの宗像清掃工場環境監視・調査結果について

## 2. 答申

平成 30 年 6 月 29 日、平成 30 年 11 月 26 日に開催した宗像清掃工場環境委員会においては、諮問事項に関して以下の区分に分け、周辺環境及び施設の維持管理に関する環境監視結果の評価を行った。

年月日	検討内容（主なもの）
平成 30 年 6 月 29 日	・ 施設稼働後環境監視結果(H29 年 9 月～H30 年 3 月)について
平成 30 年 11 月 26 日	・ 施設稼働後環境監視結果(H30 年 4 月～8 月)について

### 2.1 平成 30 年 6 月 29 日(平成 30 年第 1 回環境委員会)の評価

周辺環境に関する環境監視調査は、計画どおり大気質、水質について実施されており、委員会で審議した結果、環境基準値等を満足している。

施設の維持管理に関する環境監視調査は、計画どおり処理対象物、埋立対象物、大気質、水質、騒音・振動、ばい煙測定について実施されており、委員会で審議した結果、施設の計画値等を満足し稼働している。

### 2.2 平成 30 年 11 月 26 日(平成 30 年第 2 回環境委員会)の評価

周辺環境に関する環境監視調査は、計画どおり大気質、水質、土壌について実施されており、委員会で審議した結果、環境基準値等を満足している。

施設の維持管理に関する環境監視調査は、計画どおり処理対象物、埋立対象物、大気質、水質、悪臭、作業環境について実施されており、委員会で審議した結果、施設の計画値等を満足し稼働している。

## 3. 総括

環境監視結果(平成 29 年 9 月～平成 30 年 8 月)について、宗像清掃工場環境委員会において審議した結果、周辺環境及び施設の維持管理に関する環境監視結果ともに、施設の計画値等を満足しており、工場が周辺環境を悪化させるものではないと評価する。

なお、ごみ質の実測値と設計値の比較結果から、熔融炉の消耗度を軽減するためには、プラスチックごみの減量を推進することが望ましいと判断される。

以上